

臨床薬理学概論

2 単位 (選択) 毎年 (後期)

Introduction to Clinical Pharmacology

玉置 俊晃(授業責任者)・教授/医学専攻 病態情報医学講座, 滝口 祥令・教授/大学院ヘルスバイオサイエンス研究部

際田 弘志・教授/大学院ヘルスバイオサイエンス研究部, 土屋 浩一郎・教授/大学院ヘルスバイオサイエンス研究部, 山内 あい子・教授/大学院ヘルスバイオサイエンス研究部

富田 修平・准教授/医学専攻 病態情報医学講座

【授業目的】薬の効果に個人差が生じる要因を理解し、有効で安全な医薬品の適正な使用方法に関する基本事項を身につける。

【授業概要】人々の病気の治療・予防に多大な役割を担っている薬物をより有効に、かつ安全に使うために、薬物の人体における作用と生体内動態に影響を及ぼす諸因子について解説し、モデル式を利用した科学的評価に基づく薬物療法について講義する。また、具体的な疾患に対する薬物療法の現状と問題点や薬害についても解説する。

【履修上の注意】講義の一部は e-learning 化する予定である。e-learning 学習も出席として取り扱う。

【授業計画】

	大項目	担当
1.	授業ガイダンス+臨床薬理学序論	玉置 俊晃
2.	薬物動態の原理	富田 修平
3.	薬物の体内動態	”
4.	薬物のバイオアベイラビリティ	際田 弘志
5.	TDM の実践	滝口 祥令
6.	P450 と薬物相互作用	富田 修平
7.	薬物相互作用	玉置 俊晃
8.	腹痛と治療薬	”
9.	高血圧治療薬	”
10.	かぜ薬	”
11.	抗酸化薬	土屋 浩一郎
12.	薬物と健康食品	玉置 俊晃
13.	薬害	”
14.	妊婦・授乳婦と医薬品情報	山内 あい子
15.	臨床試験と生命倫理	玉置 俊晃

【成績評価】出席状況と小テストまたはレポート等により評価する。12 回以上の出席が必要。

【授業コンテンツ】<http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=222226>

【連絡先】

⇒ 玉置 (088-633-7061, tamaki@basic.med.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 面談希望教員に e-mail にて時間調節の上, 面談して下さい。)

⇒ 滝口 (088-633-7466, takiguti@ph.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 面談希望教員に e-mail にて時間調節の上, 面談して下さい。)

⇒ 際田 (088-633-7259, hkiwada@ph.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 面談希望教員に e-mail にて時間調節の上, 面談して下さい。)

⇒ 土屋 (薬物機能制御学講座, 088-633-7250, tsuchiya@ph.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 面談希望教員に e-mail にて時間調節の上, 面談して下さい。)

⇒ 山内 (088-633-7266, aiko@ph.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 面談希望教員に e-mail にて時間調節の上, 面談して下さい。)

⇒ 富田 (207, 088-633-6071, tomita@basic.med.tokushima-u.ac.jp) MAIL